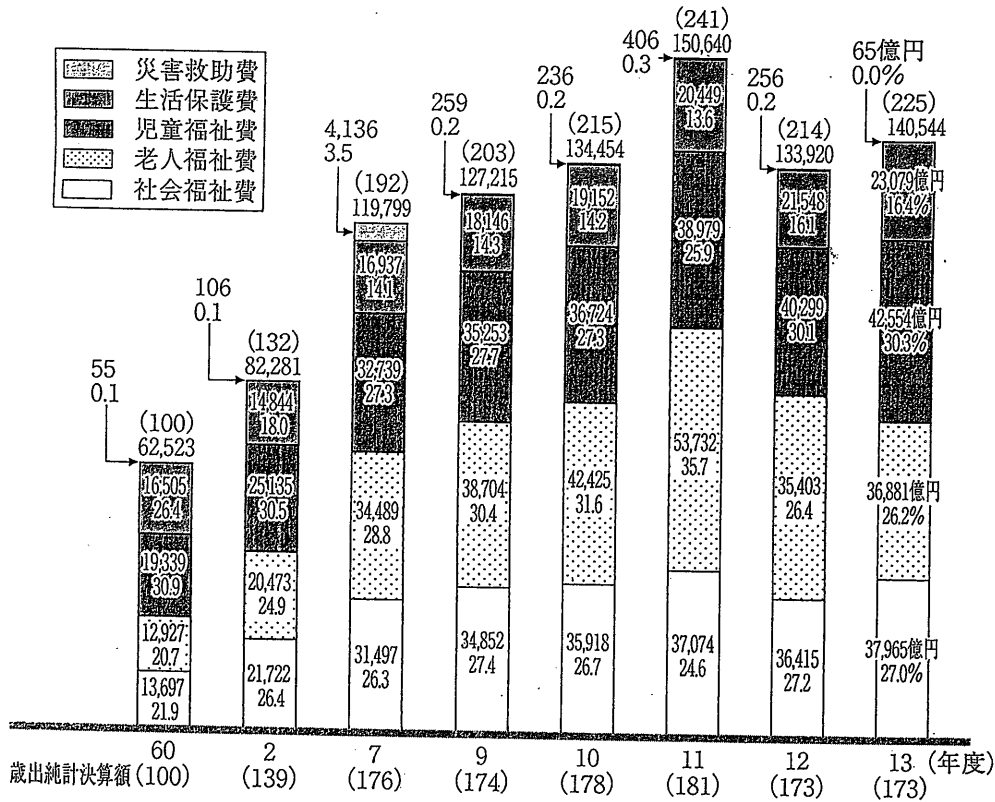


高齢者福祉

- 1989年(平成元年) 「高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略」(ゴールドプラン)
- 1990年(平成2年) 老人福祉法含む福祉8法の改正
老人在宅福祉において市町村の役割を規定
- 1993年(平成5年) 全国の自治体で老人保健福祉計画の策定
- 1995年(平成7年) 新ゴールドプラン作成
- 1999年(平成11年) ゴールドプラン作成
- 2000年(平成12年) 介護保険の導入

	保護率(人口千対)	被保護世帯数(1ヶ月平均)
1990年(平成2年)	8.2%	62.4万世帯
1995年(平成7年)	7.0% ←史上最低	60.2万世帯
1996年(平成8年)	7.1%	61.3万世帯
2003年(平成15年)	10.5%	94.2万世帯

第39図 民生費の目的別歳出の推移



図表13-10 新・高齢者保健福祉推進十か年戦略(新ゴールド・プラン)の進捗状況

区分	1995(平成7)年度予算 ()内は実績	1996(平成8)年度予算 ()内は実績	1997(平成9)年度予算 ()内は実績	1998(平成10)年度予算	1999(平成11)年度予算	新ゴールドプラン 1999(平成11)年度
訪問介護員(ホームヘルパー)	92,482人 (95,578人)	122,482人 (118,779人)	151,908人 (136,661人)	167,908人	178,500人	170,000人
短期入所生活介護(ショートステイ)	30,627人分 (33,034人分)	36,727人分 (38,619人分)	44,834人分 (43,566人分)	56,802人分	63,000人分	60,000人分
日帰り介護(デイサービス)/ 日帰りリハビリテーション(デイケア)	8,643か所 (6,401か所)	10,322か所 (7,922か所)	12,084か所 (9,616か所)	15,006か所	17,150か所	17,000か所
在宅介護支援センター	3,472か所 (2,651か所)	4,672か所 (3,347か所)	6,172か所 (4,155か所)	8,564か所	10,000か所	10,000か所
老人訪問看護事業所 (老人訪問看護ステーション)	1,500か所 (1,235か所)	2,300か所 (1,863か所)	3,200か所 (2,559か所)	4,100か所	5,000か所	5,000か所
特別養護老人ホーム	231,509人分 (233,560人分)	247,109人分 (249,017人分)	262,709人分 (262,961人分)	289,155人分	300,000人分	290,000人分
老人保健施設	165,811人分 (120,298人分)	191,811人分 (147,243人分)	220,811人分 (180,855人分)	249,811人分	280,000人分	280,000人分
介護利用型軽費老人ホーム (ケアハウス)	30,700人分 (16,893人分)	38,200人分 (23,326人分)	51,350人分 (29,529人分)	73,400人分	83,400人分	100,000人分
高齢者生活福祉センター	240か所 (186か所)	280か所 (204か所)	320か所 (227か所)	570か所	600か所	400か所

(注) 1. 訪問介護員(ホームヘルパー)については、障害者プランで、1996(平成8)年度において8,000人、1997(平成9)年度において7,500人、1998(平成10)年度において8,600人、1999(平成11)年度において8,700人(累計32,800人)の上乗せが行われている。
2. 日帰りリハビリテーション(デイケア)の実績は、各年度の7月1日現在の数値。
3. 1998(平成10)年度予算の数値は、3次補正後の数値

出典:『厚生白書』平成11年版

(注) () 内の数値は、昭和60年度を100として算出した指数である。